

10.03.2015

国費留学生帰国生懇談会

2月19日、日本大使公邸にて国費留学生懇談会が開催され、1995年から2014年に帰国した国費留学生帰国生約60名が出席しました。

本懇談会は、国費留学生帰国生の交流や留学の成果の共有、そして今後の二国間交流深化に向けた意見交換や情報共有の為のネットワーク作りを目的に開催されたものです。

冒頭、小泉大使は挨拶の中で、これまで日本はブルガリアから約480名の国費留学生を受け入れてきたが、その卒業生が日本での留学経験も生かしながら、現在様々な分野で活躍し、二国間友好関係の増進に貢献していることを大変嬉しく思っている、本日は帰国生の皆様が相互に交流を持たれ、視野と自身の可能性を広げられる機会となれば幸いである旨述べました。また、2014年は外交関係再開55周年という節目の年であったことから、昨年日本ブルガリア関係に関する主な行事の紹介を行いました。

その後、2005年に設立された「文部科学省帰国留学生同窓会」会長のミレナ・マルコヴァ氏が本同窓会の目的やこれまでの活動概要につき紹介しました。

また、2006年に帰国し、現在ソフィア市リュールン地区で文化部長を務めているステラ・ジフコヴァ氏及び2014年に帰国し、現在日本語教育に携わりながら、自身で会社を立ち上げ、日本文化に係わるソフトウェア開発を行っているヤンコ・ポポフ氏に日本留学体験及び現在の活動を報告していただきました。参加した帰国留学生にとって各々の日本留学時の貴重な経や日本の人々との良き関わりについて思い起こすひとときとなりました。



体験報告の様子



懇談の様子